

第25回(通算35回)

総会資料

日時 令和8年6月27日(土)

10:30~12:00

場所 滋草学舎木もれび

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長選出
4. 資格審査
5. 議事録署名人の選出
6. 議事
 - ① 令和7年度事業報告
 - ② 令和7年度決算報告及び監査報告
 - ③ 令和8年度事業計画案の審議
 - ④ 令和8年度予算案の審議
7. その他
8. 閉会

……………目次……………

①	はじめに……………	1
②	令和7年度事業報告……………	2
I	法人の運営	
	1. 会議等の開催……………	2
	2. 人員の状況……………	2
II	事業の基本的取組み	
	3. 基本理念及び運営方針……………	3
	4. 事業所の概要……………	4
	5. 令和7年度重点目標の取組み……………	4
III	各事業所の取組み	
	6. 総務部……………	4
	7. CIL事業部……………	5
	8. パ・マル……………	9
	9. AKASU……………	9
	10. LSK……………	11
	11. ピアハウス……………	12
③	令和7年度決算報告(活動計算書・貸借対照表・注記事項等・財産目録・事業別損益の内訳)……………	15
④	監査報告……………	22
⑤	組織図……………	23
⑥	令和8年度事業計画案……………	24
I	法人の運営	
	1. 目的及び理念……………	24
	2. 運営管理体制……………	24
	3. 協力者等……………	25
II	本年度事業方針	
	4. 総務部……………	25
	5. CIL事業部……………	26
	6. パ・マル……………	27
	7. AKASU……………	27
	8. LSK……………	28
	9. ピアハウス……………	28
⑦	令和8年度活動予算案……………	29

はじめに

理事長 高橋 美香

日頃より、自立生活センター遊TOピアの活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たち遊TOピアは、障害当事者が中心となり誰もが地域で当たり前で暮らせる社会を目指して活動しています。

私自身、障害当事者として日々感じるのは、社会にある「見えない壁」です。

今、物価高騰や介助者不足、仲間たちの高齢化といった課題があります。不自由さを「個人の問題」ではなく「社会の壁」と捉え、自らの知恵で切り拓いていく。

それこそが、私たちの原点です。

本年度、総務部は「木もれび」へ
CIL事業部とLSKは「中央」へと移転します。

上記の事業所では、法人の運営基盤のさらなる構築、そして地域の方々との関わりや様々な事業を通して、障害当事者が「支援される側」だけではなく「自分の人生を作り上げる側」としての役割を強化していきます。

また「AKASUI」や「ピアハウス」も当事者の暮らしを支える大切な役目があります。

加齢や障害の変化によって、これまでの生活が難しくなる時もあるでしょう。

どんな状態が変わっても「自分らしくありたい」という願いを大切にしていきます。

そのため法人全体で手を取り合い、協力し合い、どんなに重い障害があっても、人生の主役になる。

「遊TOピアにしかできないことがある」

その自負を胸に、職員・会員一丸となって、熊谷の街を誰もが自分らしく生きていける「街」へと変え続けていく所存です。

むすびに皆様のより一層のご支援をご協力を賜れますようお願い申し上げます。

令和7年度 事業報告

NPO法人自立生活センター遊TOピア

I 法人の運営

1. 会議等の開催

(1) 総会

日 時	場 所	出席者数	議 題
[通常] 令和7年6月21日(土)	熊谷コミュニティ センター	50名 (うち委任状34名)	令和6年度事業報告・決算報告 監査報告 役員改選案 令和7年度事業計画案・予算案
[臨時] 令和8年2月28日(土)	木もれび	47名 (うち委任状35名)	定款の改正案 (法人の名称、住所の変更、地域 活動支援センター事業の削除)

(2) 理事会

	日 時	場 所	出席者数	議 題
第1回	令和7年6月11日(水)	法人本部	4名	令和6年度事業報告(案) 総会の開催
第2回	令和7年7月4日(金)	法人本部	4名	理事長の選定
第3回	令和8年2月6日(金)	法人本部	5名	中西事務所の移転 法人の名称の変更 定款の改正(案)

(3) 監査会

日 時	場 所	出席者数	指摘事項
令和7年6月11日(水)	法人本部	監事2名 理事2名	事業報告及び会計諸帳簿の監査

(4) 実地指導

①AKASUI(生活介護・就労継続支援B型) 実施日:令和7年9月30日(火)

指導事項なし。下記の注意事項について改善した。

注意事項	
1	サービス提供の記録について、利用者から確認を受けること。
2	業務管理体制について、県障害者支援課に変更の届出を行うこと。
3	法定代理により受領した給付費の額に係る利用者への通知において、受領日(入金日)の日付を正確に記載すること。
4	適切な職場環境の維持に向けて、ハラスメント対策について相談窓口の設置・周知などに取り組むこと。
5	今年度の目標工賃金額及び前年度の工賃平均額について、利用者に文書により通知すること、若しくは事業所内に掲示すること。

2. 人員の状況

(1) 会員の状況

正会員	70名 (令和7年度納入口数60口)	15名の減
賛助会員	31名 (令和7年度納入口数28口)	13名の減

(2) 利用者の状況

実施部所		実施事業	利用者数		増減
			期首	期末	
法人本部	CIL事業部 パ・マル	自立生活相談	24	26	+2
		障害児(者)生活サポート	49	37	-12
LSK		居宅介護・移動支援	34	38	+4
AKASUI		生活介護	13	14	+1
		就労継続支援B型	23	22	-1
ピアハウス		共同生活援助	5	6	+1
合 計			148	143	-5

(3) 職員の状況

所属事業所		職員数		増減
		期首	期末	
法人本部	総務部・パ・マル	2	2	±0
	協力スタッフ	1	1	±0
	CIL事業部	2	3	±1
	協力スタッフ	1	0	-1
LSK	常勤ヘルパー	4	4	±0
	登録ヘルパー	25	25	±0
AKASUI		13	13	±0
ピアハウス		2	2	±0
合 計		50	±0	±0

※パ・マルは法人本部職員兼務の所長1名。登録ヘルパーが運転手を兼務している。

※ピアハウスは常勤の管理者1名と世話人1名の数。その他、登録ヘルパーが世話人生活支援員を兼務している。

II 事業の基本的取組み

3. 基本理念及び運営方針

「熊谷市及び周辺地域の障害者に対して、自立生活と社会参加を支援する事業を実施することにより、障害者の自立生活を普及させ、障害者と健常者が共に生きる社会を実現する。」という法人の目的を実現させるため、本年度も以下の理念に沿いながら活動を行った。

【法人理念】

法人はCILの理念に基づき、障害者を一人の人間としてその存在を認め、障害者がいろいろな人や事柄に関わる中で、自分で選択し、決めたことに責任を負える人生の主体者であることを認め、尊重します。

法人は法人設立の趣旨を堅持し、法人に関わる全ての人々が仲間であることを認め、障害のあるなしにかかわらず、全ての人々の幸福を追求します。

私たちは、将来に亘り、障害のあるなしに関わらず多様な人達が「一緒にいる」ことができる暮らしやすい社会を目指して行動し続け、その成果を地域に還元することにより社会に貢献します。

4. 事業所の概要

令和8年3月31日 現在

実施事業所	実施事業	定員	現員	所在地	事業所概要		開設年月
					形態	面積(m ²)	
法人本部 パ・マル	CIL事業部	—	26	熊谷市中西 1-1-1	借家	149.94	H21.4
	総務部・障害児(者)生活サポート	—	37				H15.4
	L S K	—	38				
AKASUI	居宅介護・重度訪問介護 移動支援	—	—	熊谷市円光 1-11-21	持家	455.4	H28.2
	生活介護 就労継続支援B型	12	14				H10.4
ピアハウス	共同生活援助 短期入所	6	6	熊谷市久保島 1680-1	持家 借地	201.79	H29.1
		1	—				
自立体験室	自立体験	1	—	熊谷市中央 1-14	借家	46.20	H27.6
木もれび	法人イベント会場 研修棟、他団体貸出	—	—	熊谷市今井 232-2	持家	132.49	R4.12

※障害児(者)生活サポート事業の現員には外出サポート登録者を含む。

※CIL事業部の現員は自立支援相談者等。

5. 令和7年度重点目標の取り組み

自立希望の当事者に対して、協力し合い、ILPの実施を行った。

また、AKSUIやピアハウスの利用者に対しても法人内の他サービスの利用等を通して各自の社会参加へ繋げることができた。

法人の経営状況への改善取り組みとしては、協議と準備を進め、令和8年度4月から総務部を木もれびへ、CIL事業部とLSKを中央へ移転させ、赤字幅の減少へ繋げていくことを臨時総会を開催し議決した。

外出サポートの料金については検討のみに留まった。

Ⅲ 各事業所の取り組み

6. 総務部

(1) 事業概要

法人事務全般、障害児(者)生活サポート事業、木もれびの運営管理等の通常業務の他、以下の事業を実施した。

また、事業所間の連絡と相互理解の促進を図るため、6回の代表者会議を開催し、日常業務の連絡調整等を行った。

(2) 物件の活用の検討

地代削減を目的に次年度に実施する移転(木もれびに法人の主たる住所及び総務部とパ・マル、自立体験室にCIL事業部とLSK)の準備、及び中西事務所の賃貸借契約の解約手続きを行った。

木もれびについて、施設の管理運営は、昨年引き続き竹中氏と共同であったり、法人関係行事の他、地域団体等への貸し出しも行った。

(3) 弁当事業

法人内への給食の提供を目的として、週1回(毎週木曜日)で利用者及び職員に対して4月、5月で250食の昼食を提供した。6月以降は、実施計画を再検討するため休止とした。

(4) 障害者週間記念イベント2025

障害当事者の自立への意欲を高めるとともに、地域の人たちの障害者への関心と理解を深めることを目的とし、令和7年12月6日(土)に熊谷市緑化センターにて開催した。

当法人の当事者2名が、それぞれ実践している一人暮らしについて講演した。参加者14名であった。

(5) 交流会

会員の親睦を深めるため11/22(土)グリコピアイーストで工場見学、昼食をなごみのや(クレア鴻巣内レストラン)でとり、交流を深めた。参加者は12名であった。

7. CIL事業部

(1) 事業概要

「どんなに重い障害があっても地域で生きられる力を養い、障害の有無に関わらず対等に生きるための活動」を目標に活動を行った。

またCIL事業部は、障害当事者が中心となり活動をし、自らの経験を活かし自立支援、ILP、ピア・カウンセリング講座、カフェWishなど実施することができた。

今年度は市民活動支援センター主催のニャオざね祭りにて「福祉車両の体験・展示会」を開催することができた。

2名の自立希望者の支援については、1名は家が決まり、改装などの準備が始まり、もう1名は調理やフィールドトリップなど行う事ができた。

支援の際にはリーダー一人ひとりが本人と向き合い本人の意思を最大限尊重することができた。

(2) 目標に対する取り組み

3名で行っているため、会議が多く通常の業務や活動への影響があり仕組みのあり方が課題であったが、Googlekeepの活用などITを活用するとともに、役割を入れ替えるなどの工夫をし、以前よりも効率的かつ円滑に行う事ができた。

自立支援に関しても個々の経験を活かし、自立希望者へのプログラムの提供を行い、自立のサポートを通して関わるスタッフも成長することができた。

SNSを活用して活動のPRなどはよくできた1年であった。

しかし各イベントなどの参加者集めに課題があり、呼びかけ方法などの工夫が必要である。

(3) 自立生活相談

26名からの相談があった。相談のみならず他事業への連携を図ることができた。

主な相談内容は、家族や介助者との関係、制度について、公共交通機関の利用についてであった。今後も本人の意思を最大限尊重し寄り添えるような相談体制を継続していく。

(4) ピア・カウンセリング事業

① 宿泊型初級講座

令和7年11月27日(木)～28日(金)の一泊二日で実施した。

遠方からくる参加者で交通手段のない方を対象に送迎を行った。

今年度は受講生2名が自分と向き合い、感情や自分自身の障害と向き合うことができた。

② ピア・カウンセリング(個人)

熊谷市障害者相談支援センターからの委託により実施し、相談回数は12回であった。主な相談内容は、自分の障害、人間関係、趣味について、生活や仕事についてであった。今年度は来所の相談が多かった。同日の相談は1名までとしているため、別日に実施するなど工夫を行った。相談者は20代から60代であった。

カウンセリングを通して、自分自身と向き合うことができ、相談者の変化が見受けられた。日に日に自信に満ちていく姿が見られ、カウンセラーもパワーをもらうことができ、ピア・カウンセリングの目的でもある支え合いに繋がった。

ピア・カウンセリングの大きな特徴であり、魅力である障害当事者がカウンセラーを勤めるということを最大限アピールしていきたい。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	6
Zoom	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	4
訪問	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(5) 社会生活力プログラム事業

① 団体自立生活プログラム事業

熊谷市障害者相談支援センターからの委託により、身体・知的障害者対象の自立生活力プログラム事業(社会生活力プログラム事業)を7月14日～10月4日に全6回の日程で行った。

今年度は初めて参加する人にも気軽に参加してもらえるように、プチILPを企画し、たくさんの申し込があったものの工場見学先の受入れ人数の関係で2名となった。

最初の入口として楽しい気持ちを感じることが大切なため今後も実施したい。通常のプログラムでは、原則全部の会への参加とした。そのことによりより密に参加者と関わることができ、企画も深くじっくりと計画することができた。

普段の生活の中では、家族の都合に合わせて時間を決められていたり、行きたい所があっても「行きたい」と言えない人も多い。また自分にはできないと思っている人も多く、実際に参加して「外にできることができて楽しかった。」と変化が見えた。また参加者全員が好きなことができるように、各リーダーが計画の段階で持ち回りで担当し、アドバイスをを行いながら、グループで協力して行う事ができた。

今回のプログラムを通して初めの一步を踏み出すことができ、未来への足掛かりとなった。リーダーとサブリーダーは当法人の障害当事者スタッフが務めたが知識や力不足が多くあり、今後の課題となった。

日時	場所	内容	申込	参加人数
7月14日(木)	東洋水産	工場見学	15	2
8月9日(土)	コミュニティーセンター	ILPとは・計画を立てよう	5	4
8月23日(土)	市民活動支援センター	計画を立てよう②・発表しよう	5	4
9月6日(土)	熊谷駅及び横浜	フィールド・トリップ	5	4
9月20日(土)	コミュニティーセンター	振り返り 終了パーティーについて	5	3
10月4日(土)	ラウンド1	終了パーティー	5	3

②個人ILP

○Aさん 愛知県で活動している自立生活センターからの紹介で自立支援を継続して行っている。群馬県在住で現在は家族と同居し、熊谷市内に家が決定し、屋内外を使いやすいと改装するなど、一人暮らしに向けての準備期間となった

○Bさん 埼玉県神川町在住で熊谷市での一人暮らしを希望し、支援継続して行った。「楽しかった」「勉強になった」と自信を付けた場面もあった。知識の向上とスキルの習得のため、引き続き支援を行う。

実施日	内容
5月23日(金)	指示の仕方と介助者との関係①
6月27日(金)	指示の仕方と介助者との関係②
7月25日(金)	指示の仕方と介助者との関係③
12月26日(金)	調理に向けてレシピを考えよう
1月16日(金)	フィールド・トリップについて
1月30日(金)	買い出しと調理
2月15日(金)	フィールド・トリップ 東武博物館

(6)障害者の権利擁護活動事業

大きなものはなく今後も相談に応じて権利擁護活動を行う。

(7)福祉、教育、まちづくりへの啓発・提言事業

①車いすの扱い方講習会

第39回目となる講習会を5月17日(土)に実施した。今回は17名が3グループにわかれ、熊谷駅周辺で街を車いすで歩きながら車いすの基本的な扱い方を学ぶと共に各班協力し合いながら、ミッションにチャレンジをした。車いすユーザーの目線たち体験を行った。

②啓発イベント「カフェWish」の開催

日時	場所	内容	人数
4月18日(金)	木もれび	ゲーム【的あて】	18
6月20日(金)	木もれび	オリジナルグッズ作成【ミニブロック】	16
8月8日(金)	木もれび	昼カフェ	14
10月17日(金)	木もれび	オリジナルグッズ作成【キーホルダー】	19
12月19日(金)	木もれび	オリジナルグッズ作成【リース】	17
2月20日(金)	木もれび	オリジナルグッズ作成【肉球ストラップ】	14

(8) 通信の発行

当法人の活動を会員、行政・立法機関、障害者団体等に周知するため、機関紙「遊TOピア通信」を4月、9月、1月に発行した。

(9)その他

①ニャオざね祭り

10月25日(土)にニットモールにて販売を行った。

②熊谷市市民活動支援センター

3月7日(土)に市民活動団体による交流会&販売に参加した。

③全国自立生活センター協議会

- ・人権委員として、月2回Zoomによる会議に参加した。
- ・関東ブロックの担当者として、ブロック研修の企画、運営を行った。

④講師派遣

6校へ講師として講演会を行い成功に終わった。休み時間にはたくさんの子供たちと話すことができ、理解促進に繋がった。今後もより積極的に講演活動を実施していく。

学校・講演会名	実施日	対象人数	対象者
熊谷市立妻沼小学校	9月8日(月)	約30名	4年生
熊谷農業高等学校	9月30日(火)	約20名	3年生
館林市立第七小学校	10月23日(木)	約17名	6年生
熊谷市立桜木小学校	1月16日(金)	約35名	4年生

- ・4月24日(木) 立正大学社会福祉学部 ゲスト講師
- ・5月13日(火) 立正大学社会福祉学部ゼミゲスト講師

- ・実習生の受け入れ 依頼がなかったため実施なし。

⑤埼玉県立熊谷特別支援学校就労支援アドバイザー

実施日	対象者
6月23日(月)	高等部1年生の生徒、保護者、教員への講演会

⑥研修の実施

(個人企画の実施)

主催者	実施日	内容
赤羽根真由美	9月19日(金)	浅草へ行きミッションを行う
蕪木健二	10月31日(金)	深谷アウトレットでミッションを行う

(外部研修)

研修名	日時	参加者	主催
全国研修	4月22日(火)	高橋・赤羽根	推進協

⑦会議の実施

Peace会議(12回)、カフェ会議(20回)、ILP会議、ピアカン会議、公共交通機関会議(13回)、バリアフリーMAP会議(13回)、議員交流会会議(11回)SNS会議(13回)等を多数行った。

(バリアフリー調査隊会合、ステッカー配布)

4/21、5/19、6/16、7/14、8/18、9/8、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/16

(熊谷市議会議員交流会の実施)

2月28日(金)参加者22名(内市議会議員6人)

⑧SNS発信回数

SNS名	発信回数
公式アカウント	7回
YouTube	3回
X	25回
インスタグラム	31回
TikTok	10回

⑨熊谷市障害者団体連絡協議会の事務委託

熊谷市障害者団体連絡協議会の事務局を担った。

⑩その他

- ・公共交通機関の活動の一環で国際福祉機器展へ参加した。10/10(金)
- ・熊谷市身体障害者福祉協会の日帰り旅行9/28(日)と新年会2/8(日)に参加した。

8. パ・マル(障害児(者)生活サポート事業)

(1)事業概要

熊谷市、深谷市、鴻巣市在住の障害者を対象に783回のサービス提供を行った。外出サポート事業について、施設入所者に対してショッピングや映画鑑賞等の13回の外出支援を行った。

(2)目標に対する取り組み

軽自動車(ハイゼット)の老朽化委に伴い、助成金への応募により車両の入れ替えを図ったが、落選となった。

9. AKASUI(生活介護・就労継続支援B型)

(1)事業概要

令和7年度は就労継続支援B型事業(以下B型)28名、生活介護事業12名の合計40名定員で事業を行った。実利用人数としてはB型22名、生活14名の36名となった。

全体の総括としてなかなか他の事業所では通所が難しい方の受け皿となれるよう見学、体験、利用していただくまでを積極的に行った。

令和7年度10月より長年最終月曜日に行っていた施設会議を2か月に1回第2土曜日に変更し利用者の方の出勤日数の増加を行った。

新たにInstagramをはじめ、事業所の活動をSNS通じて新たに発信することにした。

本年度も引き続き利用者の方にとって充実した生活が送れるよう日中活動、仕事、相談支援等多角的に支援を行った。

(2)目標に対する取り組み

①生活介護事業

午前中は引き続き全体での内職作業を行い、午後の時間では各利用者のニーズに沿った支援を行った。具体的にはアート作品の制作、散歩、リサイクル活動等を行い、マッサージや音楽療法など外部の先生の力も借りながら事故なく笑顔の多い運営が出来た。

また、強度行動障害の方のより良い支援を行う為外部研修を受け来年度からの支援に向けての準備を行った。

②就労継続支援B型事業

引き続き地域共同加算を算定し活動を行った。令和7年度は熊谷市障害者作品展の景品の納品や熊谷市社会福祉協議会ふれあい広場の景品の納品など行政関係の受注もあり、より地域に貢献できたと考える。受注額も大きく、利用者の工賃アップにも貢献した。活動の内容はInstagramで報告し、少しずつではあるがフォロワーも増えてきている。

(3)生活介護事業

- ・内職（町田工業所）：主に午前の全体作業として行った。
- ・鍼灸師によるマッサージ等（毎週水、木、金曜日）：10時から12時30分で行っている。利用者からの評判も良い。
- ・音楽療法（月1回）：1回1時間程度利用者の要望に沿って支援を行った。
- ・アート作品の作成：8月ampかわいいサミット、9月東松山アート展、12月障害者作品展への出展を行った。
- ・その他余暇活動：利用者の方の要望に応じて散歩や外出等を行った。

(4)就労継続支援B型事業

①内職作業

- ・箱折り（タカサキパッケージ、はやし物産、フジタカ）計3社
- ・ボールペン組み立て（アズケイジャパン、オクト）計2社
- ・シュリンク外し（シャッフル）

②生産作業

- ・事業所ブランド商品の制作、販売
- ・委託販売先（おにっこハウス：熊谷市、おかしやマーブル：さいたま市、カールヴァン：熊谷市、ぶらっと行田：行田市、きゃんばす：行田市）計5か所
- ・ことだま株式会社からの縫製受注（廃棄になったパラグライダーを利用し、バックやポーチの作成）

③印刷

- ・近隣の団体や自治会等の印刷物の印刷、製本を行った。

④リサイクル

- ・月2回さいたまセレモニーより段ボールの回収をおこなった。またアルミ缶の回収も行い永田紙業への搬入を行った。

⑤施設外委託作業

- ・熊谷市役所売店管理業務（1名）
- ・熊谷市立障害福祉会館清掃委託業務（1名）

(5)共通の行事、活動

①避難訓練

- 9月に放水、避難訓練、3月に総合訓練を行った。

②施設会議

- 毎月最終月曜に会議を行った。（開催回数12回）

③開所日

- 休日に開催される販売イベントなどに参加した。

10. LSK(居宅介護・重度訪問介護・移動支援)

(1)事業概要

C I L理念を大切に、I L運動と介助派遣の連携を図り、部門間を超え役割分担し、中西の事務所にて、共同で各種事業を行った。

(2)目標に対する取り組み

①自立支援希望者の支援

将来的に自立生活を希望する当事者への支援をI L事業部と協力して行っている。

(女性)

- ・ Aさん…県外在住、重度訪問利用。熊谷で住む住居のリフォームの関係で、今春に延期になっていたが、電動車いすの申請の関係で、来春に延期。

(男性)

- ・ Bさん…男性コーディネーターサポートのもと、昨年2月より、週に3日、一人暮らしを始め、介助者を入れての生活にも慣れ、無事1年経過した。
- ・ Cさん…令和6年2月より、個人ILPがスタート、今年12月ごろに自立生活希望していたが、親との生活もあるため、準備が整わず。5月以降、重度訪問介護を利用し、宿泊体験などしていく。

②大学や専門学校などへの求人活動

人手が充足しており、実施しなかった。福祉のお仕事説明会には参加し1名採用した。

(3)提供サービス及び利用状況

どんなに障害が重くても、地域で当たり前暮らし、その人らしい生き方ができるよう、遊T Oピアの理念を大切に下記の介助派遣を実施した。

障害福祉サービス 居宅介護 重度訪問介護 移動支援

(4)職員体制

以下の職員体制で、サービス提供を行った。

管理者 1名、コーディネーター 男性3名 女性1名 (管理者兼務)
事務1名 (管理者兼務) 登録：25名

(5)研修

①内部研修

- ・ 重度訪問介護研修、希望なく、開催なし。
- ・ 初任者研修、7月開講1名
- ・ 現任者研修

内容：事例検討会 3つのテーマについて、グループワークし、全体発表で共有した。

11/7 (金) 13:30~15:30 熊谷市コミュニティーセンター

- ・ 虐待防止・感染症対策研修

内容：虐待防止：身体拘束とスピークロック、感染対策と手袋や防具服の着脱の確認。

11/7 (金) 13:00~13:30 熊谷市コミュニティーセンター

②外部研修

- ・ 11/22 (土) 様々な差別事例を知ろう (J I L主催オンライン) 1名

(6) 会議等

① I L P ・ ピアカン会議

C I L 事業部の事業・自立生活プログラム講座とピアカウンセリング 講座のサポート (7回)
4/11、5/20、5/28、6/5、7/11、9/2、10/3

② I L P 講座

8/9、8/23、9/6、9/20、10/4 (全5回、土曜日)
外出イベントの下見…6/4 (木)、プチ I L P 7/17 (木)

③ピア・カウンセリング集中講座

11/27 (金) ~ 11/28 (土)

④現任者研修担当者会議

8/21 (木) 今年度の計画 開催月と内容決定。
9/18 (木) 11月の研修について 事例検討の内容決め、タイムスケジュール決め。

⑤支援会議

4/2、5/7、6/18、7/2、8/6、9/10、10/15、11/5、12/3、1/7、2/4
3/4 (月1回水曜日)

⑥車いす講習会会議

事業部とイベントに向け必要に応じ行った。

(7) ひやりはっと・事故報告

- ① R 7.6 トイレ介助で、急いでいてバランスを崩して、転倒しそうになり、腕をつかんでひっぱり、肩に痛みが出た→慌ててしまって、バランスが取れない状態になってしまったので、落ち着いて、深く腰かけ、姿勢を安定させるよう努める
- ② R 7.6 トイレ介助の際、太ももが車いすと洗面台に挟まれる感じになった。→電動車いすを動かす際、障害物との接触に気づきにくく、見えづらい部分、太ももやひざやすねなどぶつけないよう注意する。
- ③ R 7.7 事務所に忘れものをし、当事者から連絡があった→お互いに確認不足だった
- ④ R 7.8 買い物後、がんもを冷蔵庫にしまい忘れ、食べた後、吐き気をもよおした。→がんもを冷蔵庫にしまわないパンの袋に入れ、気づかなかつた。食中毒にならないよう、確認して冷蔵庫に入れる。

11. ピアハウス(共同生活援助・短期入所)

(1) 事業概要

令和7年度は入退去者変動の多い一年となった。(新規入居者…R7.7月~1名、R8.1月~1名、退所者…R7.11月)

家庭の事情で緊急度の高い方を優先して受け入れ、結果として目標としていた満床とすることができた。

また、令和7年度から義務化された「地域連携推進会議」を開催し、改めてグループホームのサービス内容を地域やご家族の方々に知っていただくことができた。

(2) 共通の行事、活動

① 防災訓練

- ・消防訓練(一部) 9/23(火) 避難、消火訓練
- ・消防訓練(総合) 3/7(土) 通報、避難、消火訓練、指定避難所への経路確認(中央防災立ち合い)
- ・<水防法> 要配慮者利用施設避難訓練 6/30(月) 共通訓練、選択訓練(初動訓練等)

② 施設会議

ホーム会議、個別支援計画作成会議を行った。
(開催回数:5回 / 6月、7月、10月、12月、2月)

③ 大里地域自立支援協議会・生活部会

- ・定例会議 4月、8月、1月、3月
- ・生活部会 全3回
 - 第一回 6/27(金)「成年後見制度について」・グループワーク・11/29(金) 定例会(障害福祉会館)
 - 第二回 11/14(金)「それって虐待?」・グループワーク
 - 第三回 2/27(金)「自立支援協議会について」・グループディスカッション

④ 余暇支援

- ・4/5(土) お花見・外食会
- ・5/10(土) バーベキュー(木もれび)
- ・11/22(土) 遊 TO ピア交流会「グリコピアイースト工場見学」
- ・12/25(木) クリスマス会
- ・2/21(土) いちご狩り・買い物&外食

(3) 研修

開催月日	研修内容	主催者	場所他	参加者
6/27(金)	第一回生活部会 「成年後見制度について」	大里地域自立 支援協議会 生活部会	熊谷市緑化 センター	2名
7/28(月)	感染症対策・食中毒予防	ピアハウス	ピアハウス	3名
11/7(金)	現任者研修 (感染症対策・虐待防止)	LSK	熊谷市コミュニテ ィセンター	7名
11/14(金)	第二回生活部会 「障害者虐待防止研修(それ って虐待?)」	大里地域自立 支援協議会 生活部会	熊谷市緑化 センター	1名
2/27(金)	第三回生活部会 「自立支援協議会について・ 横のつながりを」	大里地域自立 支援協議会 生活部会	熊谷市商工会館	2名

(4)ヒヤリ・ハット・事故報告状況

①ヒヤリ・ハット

月日	場所	状況	対応
9/13(土)	ピアハウス	13:38 ALSOKのランプ点滅職員がコールセンターへ連絡。ALSOK側でも侵入警報受信3回あり。ALSOKがセンサーの調整実施。	ロールカーテンが上がっており、窓の外的人物を検知したと思慮される。カメラの向きを調整してもらい。世話人退勤時にはカーテンを閉めることとした。

②事故報告

月日	場所	状況	対応
11/8(土)	熊谷市 小島387 付近	入居者 N さんが突然死された。歯科受診へ向かう道中に突然倒れた。すぐに病院へ搬送されたが、搬送時に心肺停止状態であった。検死の結果内的・外的要因なく、死因は不詳。	年健康診断を受けており、朝の健康観察でも問題がなかった。警察の聴取にもそれらの記録をもとに応じることができた。日頃から健康診断や体調の観察を行っていく。

(5)短期入所事業

令和7年度は短期入所の利用者がグループホームへ入居となり、後半利用率が落ちることもあった。年間通しての平均利用率では、目標とする50%を超えることができた。

【月別短期入所実績表】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	7	6	8	4	4	4	5	4	3	4	3	4
利用日数	23	22	22	17	15	19	19	16	12	9	9	11
利用率(%)	77	70	73	55	48	63	61	53	39	29	32	35

平均利用率 53%

活動計算書

令和 7年 4月 1日 から令和 8年 3月 31日 まで

NPO法人自立生活センター遊TOピア

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	120,000	
賛助会員受取会費	28,000	148,000
2. 受取助成金等		
受取地方公共団体助成金	1,270,649	1,270,649
3. 事業収益		
売上高	150,224,604	150,224,604
4. その他収益		
受取利息	138,249	
雑収益	1,242,784	1,381,033
経常収益計		153,024,286
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	60,892,279	
法定福利費	10,846,572	
通勤費	2,230,520	
福利厚生費	1,669,980	
人件費計	75,639,351	
(2) その他経費		
業務委託費	44,772,192	
その他経費計	44,772,192	
事業費計		120,411,543
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	8,764,710	
法定福利費	1,478,471	
人件費計	10,243,181	
(2) その他経費		
旅費交通費	597,954	
車両費	3,372,592	
通信運搬費	1,856,398	
消耗品費	1,474,503	
修繕費	3,427,801	
水道光熱費	2,068,339	
地代家賃	5,167,200	
減価償却費	7,510,825	
諸会費	53,000	
租税公課	359,200	
支払手数料	515,524	
支払利息	39,762	
新聞図書費	51,000	
雑費	100,145	
その他経費計	26,594,243	

科 目	金 額	
管理費計	36,837,424	
經常費用計		157,248,967
当期計上増減額		△ 4,224,681
Ⅲ 經常外収益		
經常外収益計		0
Ⅳ 經常外費用		
經常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 4,224,681
当期正味財産増減額		△ 4,224,681
前期繰越正味財産額		180,240,500
次期繰越正味財産		176,015,819

貸借対照表

令和 8年 3月 31日 現在

NPO法人自立生活センター遊TOピア
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	62,420,171		
未収金	23,880,337		
前払費用	250,166		
流動資産合計		86,550,674	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	67,023,437		
構築物	1,712,271		
車両運搬具	1,714,732		
什器備品	4,173,373		
土地	27,483,225		
減価償却引当預金	8,562,205		
有形固定資産計	110,669,243		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	720,000		
差入保証金	44,760		
投資その他の資産計	764,760		
固定資産合計		111,434,003	
資産合計			197,984,677
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,998,776		
預り金	289,082		
流動負債合計		9,287,858	
2. 固定負債			
長期借入金	12,681,000		
固定負債合計		12,681,000	
負債合計			21,968,858
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		180,240,500	
当期正味財産増減額		△ 4,224,681	
正味財産合計			176,015,819
負債及び正味財産合計			197,984,677

財務諸表の注記

NPO法人自立生活センター遊T.O.ピア

令和8年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1). 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法、定額法

【固定資産の増減内訳】

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	64,379,655			64,379,655	4,103,246	60,276,409
建物附属設備	7,978,730			7,978,730	1,231,702	6,747,028
構築物	2,000,722			2,000,722	288,451	1,712,271
車両及び運搬具	2,570,807			2,570,807	856,075	1,714,732
器具及び備品	5,204,724			5,204,724	1,031,351	4,173,373
土地	27,483,225			27,483,225		27,483,225
合計	109,617,863	0	0	109,617,863	7,510,825	102,107,038

【借入金の増減内訳】

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	15,789,000		3,108,000	12,681,000

【事業別損益の内訳】

別紙の通り

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び関係法人等との取引
—	—	—	—

令和7年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

令和 8 年 3 月 31 日 現在

NPO法人自立生活センター遊TOピア

科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高(事業所合計)	886,630	
普通預金			
埼玉りそな銀行	熊谷支店(法人本部)	2,408,810	
ゆうちょ銀行	長野貯金事務センター(法人本部)	2,042,489	
埼玉りそな銀行	熊谷支店(AKASUI)	5,819,578	
埼玉りそな銀行	熊谷支店(LSK)	34,114,640	
群馬銀行	熊谷支店(LSK)	16,356,195	
埼玉りそな銀行	(ピアハウス)	791,829	
未収金			
	熊谷市他(AKASUI 訓練等給付)	3,680,372	
	利用者他(AKASUI 訓練等給付)	18,600	
	熊谷市他(AKASUI 介護給付費)	4,674,244	
	熊谷市他(LSK 居宅介護)	12,225,604	
	利用者他(LSK 居宅介護)	119,175	
	外出サポート料(法人本部)	23,000	
	生活サポート料(法人本部)	197,600	
	熊谷市他(ピアハウス 訓練等給付費)	1,951,361	
	利用者他(ピアハウス 給付費、実費)	780,050	
	その他	210,331	
前払費用			
	岩田駐車場代 他(AKASUI)	63,000	
	甲田家賃(LSK)	117,166	
	木村家賃(ピアハウス)	70,000	
流動資産合計			86,550,674
2 固定資産			
建物及び造作			
	LSK内装工事	8,474	
	AKASUI建物、改修工事	37,081,609	
	AKASUI物置	1	
	ピアハウス建物	20,395,611	
建物付属設備			
	木もれび建物	2,790,714	
	AKASUI設備	37,237	
	ピアハウス電気水道設備	5,236,630	
	床・トイレ改修工事(中央1-14)	114,950	
	空調設備(AKASUI)	402,343	
	照明設備(AKASUI)	556,282	
	防火設備(AKASUI)	399,586	
構築物			
	AKASUI屋外外構工事	366,595	
	ピアハウス門扉工事	988,056	
	ピアハウス敷地工事(砂利敷き代)	357,620	
車輛運搬具			
	2号車(ハイエースバン)	1	
	4号車(キャラバン)	1	
	6号車(セレナ)	1	
	7号車(ハイゼットスローパー)	1	
	8号車(アイリス)	1	
	9号車(ノア)	1	
	10号車(ハイエース)	1	
	11号車(エフリオ)	1	
	12号車(ハイエース)	868,771	
	13号車(スベシア)	845,953	
什器備品			
	看板工事(AKASUI)	1	
	シン(AKASUI)	1	
	ノートパソコン(AKASUI)	1	
	ノートパソコン(LSK)	1	
	ノートパソコン(LSK)	1	
	エアコン(LSK)	30,869	
	エアコン(AKASUI)	40,392	
	エアコン(AKASUI)	56,388	
	冷蔵庫(ピアハウス)	1	
	カーテン(AKASUI)	1	
	カーテン(ピアハウス)	1	
	カーテン(ピアハウス)	1	
	ピアハウス敷地工事(防草シート代)	1	
	植栽工事(AKASUI)	68,370	
	室内装飾品(AKASUI)	546,433	
	物置(ピアハウス)	43,176	
	木もれび太陽光発電設備	187,735	
	ピアハウス太陽光発電設備	3,200,000	
土地			
	熊谷市円光一丁目1866番1他	23,455,201	
	熊谷市今井232番2	4,028,024	
減価償却引当預金			
	埼玉りそな銀行 熊谷支店	8,562,205	
保証金			
	リサイクル保証金	44,760	
敷金			
	LSK事務所(富士見堂)	300,000	
	ピアハウス敷金	420,000	
固定資産合計			111,434,003
資産合計			197,984,677

Ⅱ 負債の部				
1 流動負債				
未払金	賃金等(3月分)	5,195,571		
	利用者工賃(3月分)	144,880		
	ヘルパー手当(3月分)	3,266,705		
	ヘルパー通勤費(3月分)	162,137		
	旅費交通費、通勤費(3月分)	229,483		
預り金	源泉所得税、住民税	289,082		
流動負債合計			9,287,858	
2 固定負債				
長期借入金	独立行政法人福祉医療機構	12,681,000		
固定負債合計			12,681,000	
負債合計				21,968,858
正味財産				176,015,819

事業別損益の内訳（別紙）

NPO法人自立生活センター遊TOピア


令和8年 3月31日 現在

（単位：円）

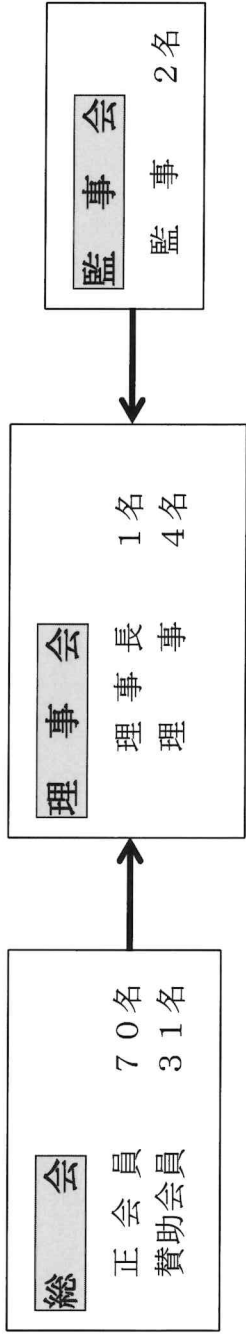
科目	生活サポート パ・マル	障害福祉サービス				管理部門	合計
		AKASUI	就労支援	LSK	ピアハウス		
I 経常収益							
1. 受取会費							
正会員受取会費						120,000	120,000
賛助会員受取会費						28,000	28,000
2. 受取寄附金							
受取寄附金							
3. 受取助成金等							
受取地方公共団体助成金		272,352		732,741	75,456	190,100	1,270,649
4. 事業収益							
売上高	1,847,425	53,333,973	2,578,011	75,947,654	15,808,991	708,550	150,224,604
5. その他収益							
受取利息		8,759		101,033	2,895	25,562	138,249
雑収益		60,000	415,000		148,832	618,952	1,242,784
経常収益計	1,847,425	53,675,084	2,993,011	76,781,428	16,036,174	1,691,164	153,024,286
II 経常費用							
1. 事業費							
(1) 人件費							
給料手当	2,652,848	31,248,519		17,472,959	9,517,953		60,892,279
法定福利費	594,323	3,577,655		6,289,277	385,317		10,846,572
通勤費	241,077	1,029,789		891,204	68,450		2,230,520
福利厚生費	147,840	767,137		637,838	117,165		1,669,980
人件費計	3,636,088	36,623,100		25,291,278	10,088,885		75,639,351
(2) その他経費							
業務委託費	400,685	628,459	2,805,233	38,894,750	1,868,554	174,511	44,772,192
その他経費計	400,685	628,459	2,805,233	38,894,750	1,868,554	174,511	44,772,192
事業費計	4,036,773	37,251,559	2,805,233	64,186,028	11,957,439	174,511	120,411,543
2. 管理費							
(1) 人件費							
給料手当		3,233,560		2,617,395	2,250,542	663,213	8,764,710
法定福利費		563,452		417,316	349,122	148,581	1,478,471
人件費計		3,797,012		3,034,711	2,599,664	811,794	10,243,181
(2) その他経費							
旅費交通費	7,515	277,530		312,074		835	597,954
車両費	475,170	2,787,272		110,150			3,372,592
通信運搬具	145,446	121,434	48,414	1,385,944	139,000	16,160	1,856,398
消耗品費	16,877	537,603		714,662	203,692	1,669	1,474,503
修繕費	122,760	398,052		2,295,649	597,700	13,640	3,427,801
水道光熱費	47,529	835,692	55,310	577,930	546,597	5,281	2,068,339
地代家賃	648,000	793,200		2,814,000	840,000	72,000	5,167,200
減価償却費	494,941	3,033,895		371,998	3,609,991		7,510,825
諸会費		15,000				38,000	53,000
租税公課	1,800	39,500		267,900		50,000	359,200
支払手数料	27,500	47,590	2,000	45,650	170,500	222,284	515,524
支払利息		18,174			21,588		39,762
新聞図書費					51,000		51,000
雑費		67,698	2,000	17,680	12,767		100,145
その他経費計	1,987,538	8,972,640	107,724	8,913,637	6,192,835	419,869	26,594,243
管理費計	1,987,538	12,769,652	107,724	11,948,348	8,792,499	1,231,663	36,837,424
経常費用計	6,024,311	50,021,211	2,912,957	76,134,376	20,749,938	1,406,174	157,248,967
当期経常増減額	△ 4,176,886	3,653,873	80,054	647,052	△ 4,713,764	284,990	△ 4,224,681
III 経常外収益							
1. その他経常外収益							
設備導入補助金							
経常外収益計							
IV 経常外費用							
1. 固定資産除・売却損							
固定資産圧縮損							
経常外費用計							
合計	△ 4,176,886	3,653,873	80,054	647,052	△ 4,713,764	284,990	△ 4,224,681

令和7年度の特定非営利活動法人自立生活センター遊トピアの事業報告及び会計諸帳簿を監査した結果、適正であることを認めます。

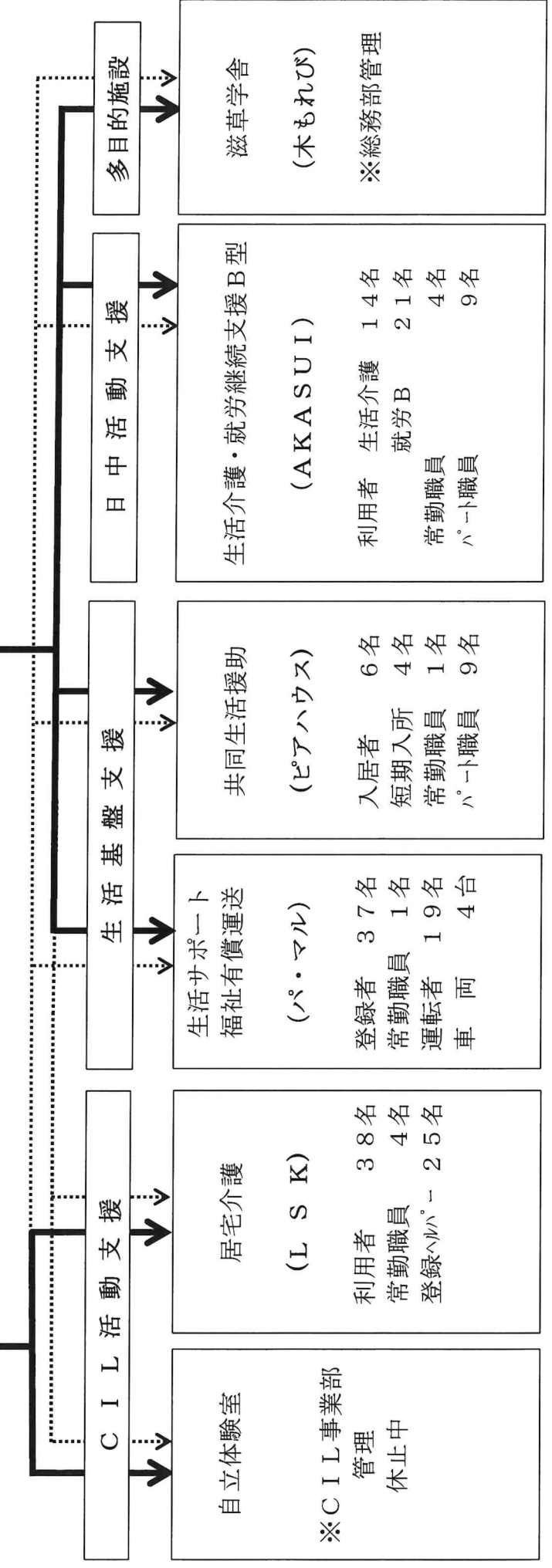
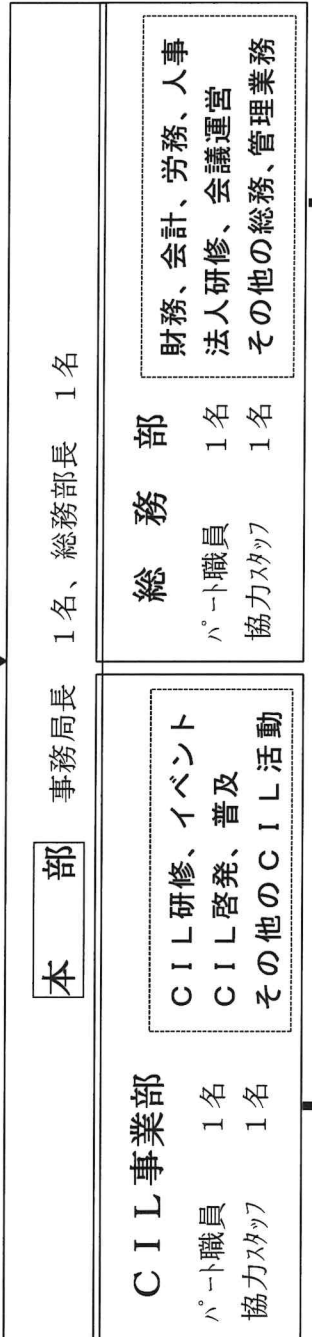
令和8年6月10日

監査 清水貴子 

令和8年度 遊T.O.P.I.A 組織図



(注) 共同生活援助、生活介護、就労Bの利用者数は定員を、その他の数字は令和8年4月1日現在の実人数を示す。



令和8年度 事業計画（案）

I 法人の運営

1. 目的及び理念

(1) 目的

「熊谷市及び周辺地域の障害者に対して、自立生活と社会参加を支援する事業を実施することにより、障害者の自立生活を普及させ、障害者と健常者が共に生きる社会を実現する。」という法人の目的を実現させるため、本年度も引き続き活動する。

(2) 理念

法人の理念は次の通り。本年度も引き続き下記理念を堅持し、理念に基づいた活動を行う。

法人はCILの理念に基づき、障害者を一人の人間としてその存在を認め、障害者がいろいろな人や事柄に関わる中で、自分で選択し、決めたことに責任を負える、人生の主体者であることを認め、尊重します。

法人は法人設立の趣旨を堅持し、法人に関わる全ての人が仲間であることを認め、障害のあるなしにかかわらず、全ての人の幸福を追求します。

私たちは、将来に亘り、障害のあるなしに関わらず、多様な人達が「一緒にいる」ことができる暮らしやすい社会を目指して行動し続け、その成果を地域に還元することにより、社会に貢献します。

2. 運営管理体制

(1) 事業及び事業所

本年度は下記により事業を実施する。

	名 称	実施又は予定事業 及び 定員	所在地	延床面積（土地面積）／備考
1	総務部 パ・マル 木もれび	法人庶務、労務、経理、請求業務他 障害児（者）生活サポート事業 イベント会場・多目的スペース	熊谷市今井 232-2	132.49㎡（962.97㎡） 持家
2	CIL事業部 L S K	CIL事業 居宅介護・重度訪問介護・移動支援	熊谷市中央 1-14	46.2㎡ 借家
3	AKASUI	生活介護（12名）、 就労継続支援B型（28名）	熊谷市円光 1-11-21	315.04㎡（413.82㎡） 持家
4	ピアハウス	共同生活援助（6名） 短期入所（1室）	熊谷市久保島 1680-1	201.79㎡（993.95㎡） 持家 借地

(2) 諸会議等

下記により定例開催するほか、運営状況により、必要に応じて適宜開催する。

開催予定月	会議名／主な議題	開催予定月	会議名／主な議題
令和8年6月	監査会 / 法人の監査 理事会 / 運営上の諸課題、及び 事業報告、決算の承認 総会 / 事業報告、事業計画、 及び予算・決算の承認他	10月 令和9年1月 3月	理事会 / 運営上の諸課題 理事会 / 運営上の諸課題 理事会 / 運営上の諸課題、及び 事業計画、予算の承認

3. 協力者等

法人の協力医療機関及び苦情解決第三者委員については、引き続き下記に協力を依頼する。

(1) 協力医療機関

医療機関名	医療生協さいたま生活協同組合 熊谷生協病院
診療科	内科、消化器内科、小児科
所在地	〒360-0012 熊谷市上之3854番地

(2) 苦情解決第三者委員

武藤 さつき 氏	就労支援相談員、市民後見人
渡辺 功三 氏	元民生・児童委員

II 本年度事業方針

4. 総務部

諸事業を保管し、将来を見据える部門、また法人の礎としての役割を担い、遂行できるように管理部門としての機能を強化し、以下の課題に取り組む。

また、今期より木もれびの一室に総務部の事務所を移転し、竹中氏ご夫妻との協力体制のもと、管理運営を行う。

(1) 木もれびの活用

法人総務部及びパ・マルが移転して初年度となる本年度事業については、引き続き木もれびの施設としての特徴を損なわず、地域の中で仲間づくりや異世代間の交流を行い、人と人との交流の輪を広げ、誰もが健康で心豊かに暮らせることを目的とした「交流できる場」「楽しく学びあえる場」「憩いの場」を提供する。

(2) フード事業

前年度から休止している弁当事業の代替として、単年度事業で「にこま〜る」を開催する。

毎月の最終土曜日10時から15時の時間帯で「自分にお弁当を作って、みんなで食べてにっこりする」をテーマとし、障害の有無にかかわらず参加者を募る。調理師がメニューを考え、希望者には調理から行ってもらい、食材を好きなように盛り付けて食べることにより、バランスの取れた食事や調理体験、交流の機会とする。弁当事業については、引き続き検討する。

(3) 交流会

会員等の親睦を深めるため、6月、11月、2月に行う。

5. CIL事業部

私たちの最大の強みは、サービスを提供する側と受ける側という壁を取り払い、同じ視点に立つ「当事者性」である。

この強みや今まで培ってきた経験を生かし、障害当事者の支援を行いながら地域で生きる当事者のエンパワーメントや社会の意識変革に努める。

* 共感とピアサポート

「生活のしづらさ」を理屈ではなく経験として理解しているからこそ、相談者に寄り添い、希望へと変えるピアカウンセリングを引き続き行う。

* 実践的なノウハウの蓄積

制度の隙間で生じる課題に対し、自らが試行錯誤して切り拓いてきた「生きる知恵」をたくさんの当事者に伝える。

* 社会を変える「変革者」としての視点

単なる福祉サービスの利用者ではなく、自らの不自由を「個人の問題」ではなく「社会の障壁」と捉え、誰もが暮らしやすい地域を目指す。

(1) 自立支援

- ・熊谷市障害者相談支援センターからの委託による社会生活力プログラムの実施
- ・自立生活希望者(2名)及び自立生活者への自立生活プログラムおよびピア・カウンセリングを実施し、現在の生活、自立に向けた支援を引き続き行う。
- ・自立生活の魅力を発信するための啓発活動および施設、特別支援学校への訪問活動
- ・ピア・カウンセリングの泊りによる講座の実施

(2) 啓発活動

- ・カフェ Wish を2か月に1回開催する
- ・公共交通では電車を利用する際の車両とホームの隙間や段差の解消及び整備に関する調査、交渉を行う。
- ・熊谷市議会議員との交流会を年1回開催する。
- ・12月に障害者週間記念イベントを開催する。
- ・Instagram、X、YouTube、公式LINEによる情報発信を行う。
- ・バリアフリー調査隊と連携し熊谷市内のバリアフリー情報をHP、紙ベースMAP、WheeLogを活用しより多くの障害当事者に届けるための活動を行う。
- ・市民活動支援センター、その他の団体と連携し販売、啓発活動を行う。

(3) 当事者職員の発掘及び現当事者職員のスキルアップ

当事者職員の発掘及び現障害当事者職員のスキルアップを行う。

(4) 熊谷市障害者団体連絡協議会の事務

熊谷市障害者団体連絡協議会の事務を行う。

6. パ・マル

障害児(者)生活サポート事業及び施設入所者の外出支援を行う外出サポートの提供を行う。

前年度と同様、車両の登録台数4台での運行体制を継続する。前年度に引き続き、ハイゼットの入れ替えを検討する。また、前年度未着手となった料金の見直しを、引き続き検討する。

(1) 運行管理計画

今年度の運行計画は、下記により昨年同様に実施する。

- ① 運行地域 熊谷市、深谷市、鴻巣市
- ② 利用見込 下表のとおり

(単位)	熊谷市	深谷市	鴻巣市	合計
登録人員(人)	34	1	3	41
利用見込人員(人)	33	1	3	37
利用見込時間数(時間)	約600	約40	約100	約740

(注)利用見込人数、利用見込時間数は、令和7年度実績から見込み数

- ③ 車両台数 : 4台 (内軽自動車3台)
- ④ 職員配置 : 安全運転管理者 1名、整備担当者 1名、運転従事者 20名

7. AKASUI

事業所全体として今年度については早急に解決すべき事項がある利用者の方に対しての集中的な支援(各種サービスの利用調整、今後の生活の相談等)を管理者、サービス管理責任者を中心に行い、単年度での解決を図る。

また、昨年度より施設会議を平日から隔月第2土曜日に変更し開所日数の増加を図った。今年度も引き続き利用者の方のニーズに寄り添った事業所運営を目指していく。

(1) 就労継続支援B型事業

昨年度より就労継続支援B型(以下B型)において地域共同加算を算定し事業展開を行った。今年度も収益も求めてはいるが、あくまで地域の企業様、自治会や各団体様と協力して利用者の方のやりがいを追求した事業を目指していく。

(2) 生活介護

昨年度については現在のB型利用者の方の高齢化や障害の進行などにより、生活介護に移るケースが増加してきた。今年度も移行を検討している利用者の方を控えており、長年B型を利用してきた方にとって生活介護への移行は悩ましい問題にもなっているが、体系以降しても変わらず利用者の方がやりがいをもって作業を継続できるようにB型事業とも連携しながら行っていく。

高度強度行動障害の支援の為の研修に参加したため、実践を行う。

8. LSK

令和7年度は、予定していた方々の一人暮らしのスタートとはならず、事業部と連携し、支援していく。地域で暮らしている方の時間数が増えてきているので、本人に寄り添って支援していく。

(1) 介助派遣

同性介助を大切に、CIL理念に基づき、介助派遣を行う。

- ・居宅介護／重度訪問介護／移動支援

(2) 各種研修

- ・重度訪問介護従事者養成研修
- ・初任者研修(有資格者入職時)
- ・現任者研修の実施(年2～3回)
- ・感染症予防・虐待防止

(3) 自立生活の支援

CIL事業部と連携して、当事者への支援、ILPやピアカン、車いすの扱い方講習会など、CIL部門と法人事業等のイベントのサポートを行う。

(4) 求人

必要に応じて募集し、研修を行う。

9. ピアハウス

(1) 共同生活援助

前年度、満床にすることができた。ここ数年で入居者の入れ替わりが多くなり、個別の対応が求められている。職員間の情報共有を図り、入居者の方のペースを尊重してより良い生活となるよう支援していく。

入居者の希望を取り入れた余暇活動や季節行事を積極的に行い、入居者同士の交流の機会を増やす。

(2) 短期入所

将来グループホーム入居を希望されている方においては、実際に入居した時の日課行動を視野に入れながら、入居が実現できるようサポートを行っていく。

(3) 地域活動

- ・地域行事に参加し、近隣住民との顔の見える関係、つながりを大切にしていく。
- ・地域連携推進会議の開催(年1回)
- ・自立支援協議会(生活部会)の活動への参加

令和8年度活動予算書(案)

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

NPO法人自立生活センター遊TOピア

科 目	金 額		
I. 経常収益の部			
1. 受 取 会 費			
受 取 会 費	120,000		
賛 助 会 員 受 取 会 費	20,000	140,000	
2. 受 取 寄 附 金			
受 取 寄 附 金	10,000	10,000	
3. 受 取 助 成 金 等			
受 取 地 方 公 共 団 体 助 成 金	1,500,000	1,500,000	
4. 事 業 収 入			
売 上 高	151,640,000	151,640,000	
5. そ の 他 収 益			
受 取 利 息	138,000		
雑 収 益	820,000	958,000	
経 常 収 益 計			154,248,000
II. 経常費用の部			
1. 事 業 費			
(1) 人件費			
給 料 手 当 費	66,000,000		
法 定 福 利 費	12,350,000		
通 勤 費	2,180,000		
福 利 厚 生 費	1,630,000		
人 件 費 計	82,160,000		
(2) その他経費			
業 務 委 託 費	43,023,000		
そ の 他 経 費 計	43,023,000		
事業費計		125,183,000	
2. 管 理 費			
(1) 人件費			
給 料 手 当 費	5,500,000		
法 定 福 利 費	820,000		
通 勤 費	310,000		
人 件 費 計	6,630,000		
(2) その他経費			
旅 費 交 通 費	660,000		
車 両 運 搬 費	3,600,000		
通 信 費	1,680,000		
消 耗 品 費	1,400,000		
修 繕 費	3,350,000		
水 道 光 熱 費	2,340,000		
地 代 家 賃 費	2,240,000		
減 価 償 却 費	6,100,000		
諸 会 費	69,000		
租 税 公 課	380,000		
支 払 手 数 料	400,000		
支 払 利 息 費	40,000		
雑 収 益	150,000		
そ の 他 経 費 計	22,409,000		
管理費計		29,039,000	
3. 予 備 費			
予 備 費 計	206,000		
経 常 費 用 計		26,000	
			154,248,000
当期正味財産増減額			0
前期繰越財産額			176,015,819
次期繰越正味財産額			176,015,819